

## 30年ぶりの「人口減少率二桁」打破へ 下川町再構築のため、 町独自の政策プランが必要

町長 プランは必要ない。総合計画の毎年見直しに織り込むことができる



かすが たかし  
春日 隆司 議員

### 町の将来が危うい根拠

質問

職員への訓示で「固定概念の考えでは町の将来は危うい」と述べています。「危うい」と思う根拠は何でしょうか。

町長 政策形成をしつかりしなければ人口動態にも影響するということです。

### ふるさと納税

質問

今年、納税額1億円の目標を公言しており、H28年以降取り組みに進展なく先送りしてきています。町長の良心と責任感にゆだねるしかありません。進展しないことへの心理的な抵抗はありませんか。(H27年度3,386万円、R2年度3,580万円)

町長 少しでも納税額が上がるように汗をかいていきます。

再質問 町長から明確な指示が出されていますか。又は、指示は出ているが、業務が多くて手が回らないのでしょうか。

町長 指示を出しています。私の指示をどう受け止めているか聞いていません。私の方からは控えさせていただきます。

### 福祉政策の重要性

質問

国勢調査(5年間変動)の人口速報値は11・8%減で30年ぶりに二桁の減少となりました。ダム・外国人研修生の増減を加味しても減少幅が大きいです。町長は「福祉へのバラマキ」はいかがなものか、お金がなく「ないそでは振れない」とのスタンスですが、福祉に対する基本的な考えをお聞かせいただけます。

町長 本町の福祉政策は一定程度充実していると思っております。

### 「幸せ日本」への独自政策必要

質問

本一幸せを目指すなら、日本一の独自施策が必要。世界から目標にされる町を目指すなら世界から目標にされる独自政策が必要。独自政策が打ち出せていません。

### 子育て政策の重要性

質問

町長は、子育てについて「うちの町だけが抜き出る必要はない、政策の横並び

でよい。」との考えですが、その意図は何でしょうか。

町長 下川町だけが突出して何かをやっていくということではなく、互いの市町村がバランスよく進めていくことが必要です。

### 町民意向の政策反映

質問

H29年の町民意向調査では、子育て、高齢サービスなどが重要であるが、満足度が減少している意見が多くありました。町民意向に沿った政策を打ち出さなければ転出者が増え、よいまちづくりができません。町民意向から今日の人口減少が予見されましたが、意識をされなかったのでしょうか。

町長 死亡者が圧倒的に多い。廃業・事業縮小があります。個人事業が非常に多い。JRが無く非常にイメージダウンで不便。町立病院だけではまかなえない。福祉施設は維持管理費がばう大です。若い人たちの働く場所が非常に少ない。娯楽施設が少ない。映画館もない。情報収集しながら判断していきます。

再質問 H23年からH27年の

出生・死亡の増減▲222人、28年からR2年は▲220人、死亡者が多い訳ではありません。

### 下川の危うさを脱する 独自政策

質問

根拠に基づき政策をたてる必要があります。下川町の危うさを脱するためにも下川再構築のため「独自政策のプランづくり」が必要ではないですか。

町長 あえて再構築のプランは必要がないと考えています。

再質問 移住者が必要以上に流出しています。定住条件を揃え、住み続けられることが基本です。循環型森林経営で雇用を戻す。結いの森、コモレビ、森林組合周辺へ熱供給

熱エネルギーを確保し通年雇用の産業をつくりだす。5年先の農業のための投資をしていくなど自律プランが必要で

町長 再構築の部分は、総計ローリング(毎年見直し)の中にも織り込んでいくことができます。